

令和４年度 第５回

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

と き 令和５年３月１３日（月）
午後１時３０分～
ところ 文化交流館カダーレ
「ギャラリー」

～ 次 第 ～

１ 開 会

２ あいさつ

会長 由利本荘市長 湊 貴信

３ 報 告

報告第１号 由利高原鉄道（株）第３９期実績報告（令和４年度）並びに
令和４年度由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

報告第２号 乗り[逢い]交通事業「石沢地域交通」のボランティア輸送
の運行範囲拡大ならびに乗合タクシーの継続について

４ 議 事

議案第１号 由利本荘市地域公共交通網形成計画の実施事業等の検証について

議案第２号 東由利地域コミュニティバスの路線変更について

５ その他

由利本荘市地域公共交通計画の策定について

６ 閉 会

令和 4 年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

【委員】

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
1 号	由利本荘市	市長	湊 貴 信	
2 号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	尾 上 さ や か	副課長 渡邊 剛
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱 場 道 夫	経営戦略課長 太田 晃一
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋 藤 善 一	輸送課長 金谷 文之
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小 石 和 弥	【欠 席】
	秋田県由利地域振興局	建設部長	備 前 亨	次長 加藤 勝弘
3 号	由利本荘警察署	署長	持 主 美 彦	交通課長 佐々木 宏樹
	国土交通省東北運輸局	鉄道部長	齊 藤 仁 伸	秋田運輸支局 首席運輸企画専門官
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	玉 田 紀 之	小林 弘典
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	小 松 鋼 紀	主査 大塚 智哉
	秋田県由利地域振興局	総務企画部長	土 門 久 仁 子	
	由利本荘市商工会	会長	佐 藤 久 美	
	由利本荘市観光協会	会長	猪 股 春 夫	【欠 席】
	秋田しんせい農業協同組合	代表理事組合長	小 松 忠 彦	
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	松 田 武 文	【欠 席】
	由利本荘市教育委員会	教育長	秋 山 正 毅	教育次長 三浦 良隆
	由利本荘市校長会	会長	高 野 睦	
	由利本荘市PTA連合会	会長	伊 藤 慎	【欠 席】
	由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会	高校部会長	熊 澤 耕 生	
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土 田 典 子	
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	前 川 侔	
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	泉 谷 赳 馬	【欠 席】
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	佐 藤 久 美	
	由利本荘市企画振興部	部長	今 野 政 幸	
	本荘地域公共交通利用者		大 竹 悦 子	
	矢島地域公共交通利用者		菅 原 賢 一	【欠 席】
	岩城地域公共交通利用者		今 野 正 樹	

【委員】

(※備考欄の職氏名は本日の代理出席者)

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
3号	由利地域公共交通利用者		多 田 厚	
	大内地域公共交通利用者		菊 地 洋	
	東由利地域公共交通利用者		長 谷 山 博 昭	
	西目地域公共交通利用者		加 賀 秀 喜	
	鳥海地域公共交通利用者		高 橋 莊 一	
	秋田大学	准教授	日 野 智	
	秋田県立大学	准教授	星 野 満 博	

【事務局：地域振興課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	
企画振興部 地域づくり推進課	課長	佐 藤 弘 幸	
	班長	田 口 侑 樹	
	主任	平 澤 裕 一 郎	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	秋 山 茜	【欠 席】
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主査	斎 藤 正 晴	
由利総合支所 市民サービス課 振興班	班長	伊 藤 善 裕	【欠 席】
大内総合支所 市民サービス課 振興班	主席主査	小 助 川 健 志	
東由利総合支所 市民サービス課	参事兼課長補佐	小 松 和 美	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主査	大 友 春 奈	
鳥海総合支所 市民サービス課 振興班	参事兼課長補佐県班長	佐 藤 錠 司	

○輸送人員

(単位：人)

	定期外								定期外計	定期		定期計	総合計
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン	回数券	団体		通勤	通学		
令和3年度(38期)	7,359	1,415	10,231	898	19,903	2,607	2,937	4,394	29,841	12,286	90,006	102,292	132,133
令和4年度(39期)	6,865	1,588	11,856	614	20,923	4,651	3,377	5,570	34,521	12,642	97,970	110,612	145,133
対前年差	△494	173	1,625	△284	1,020	2,044	440	1,176	4,680	356	7,964	8,320	13,000
対前年比	93.3%	112.2%	115.9%	68.4%	105.1%	178.4%	115.0%	126.8%	115.7%	102.9%	108.8%	108.1%	109.8%

○運輸収入

(単位：円、税込)

	定期外								定期外計	定期		定期計	総合計
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン	回数券	団体		通勤	通学		
令和3年度(38期)	3,001,880	501,232	3,840,655	2,222,919	9,566,686	763,169	915,173	2,693,666	13,938,694	2,342,167	9,241,225	11,583,392	25,522,086
令和4年度(39期)	3,331,446	530,474	5,400,720	3,744,890	13,007,530	1,281,798	1,064,333	3,954,548	19,308,209	2,819,982	10,284,402	13,104,384	32,412,593
対前年差	329,566	29,242	1,560,065	1,521,971	3,440,844	518,629	149,160	1,260,882	5,369,515	477,815	1,043,177	1,520,992	6,890,507
対前年比	111.0%	105.8%	140.6%	168.5%	136.0%	168.0%	116.3%	146.8%	138.5%	120.4%	111.3%	113.1%	127.0%

※本社扱い：通販・車内販売の販売扱い

(5) 由利本荘市コミュニティバスの乗車実績 (R 5. 1 月末まで)

報告第 1 号

対象期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 1 月

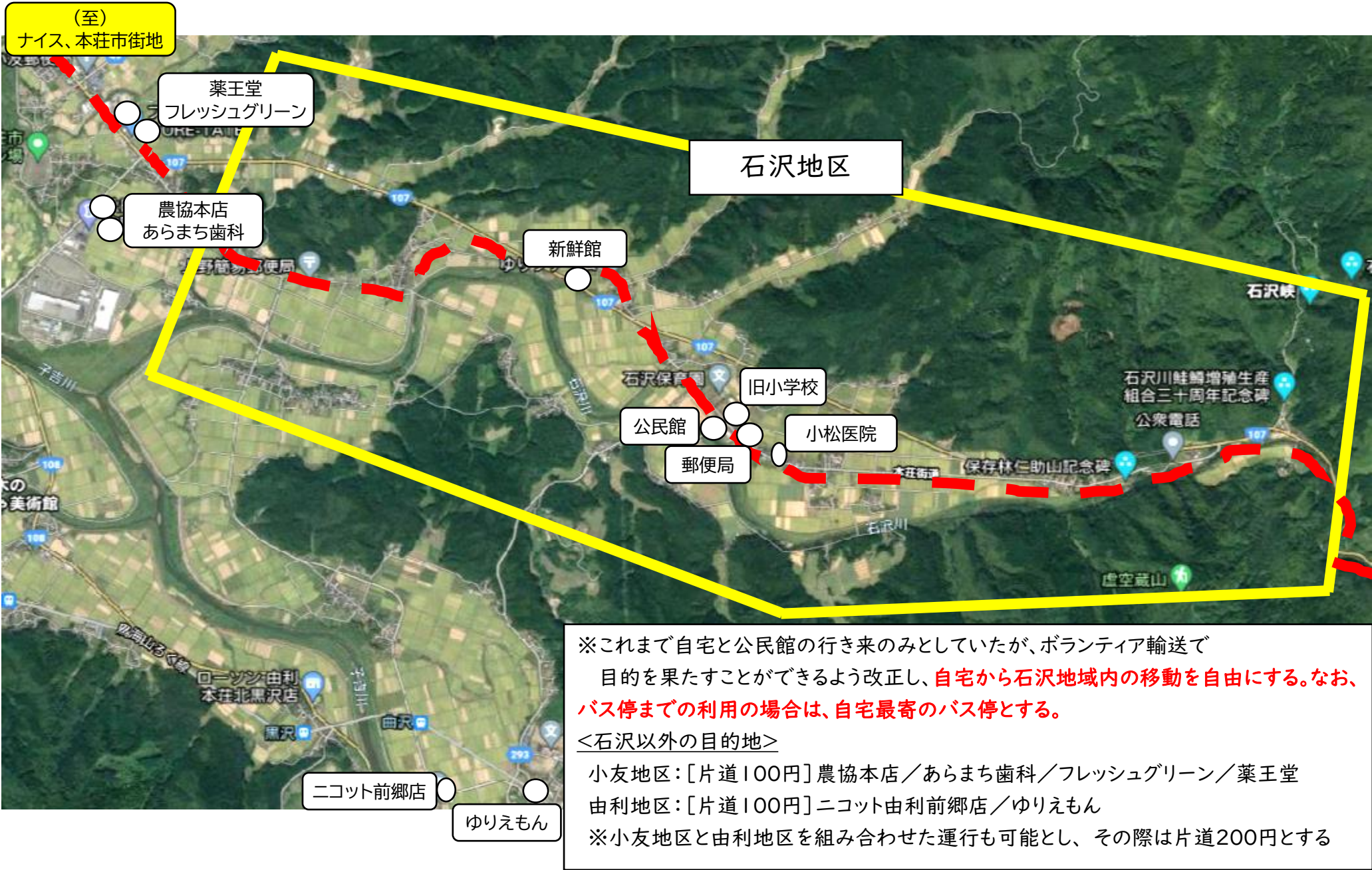
下段 () 内は令和 3 年 4 月～令和 4 年 1 月乗車実績

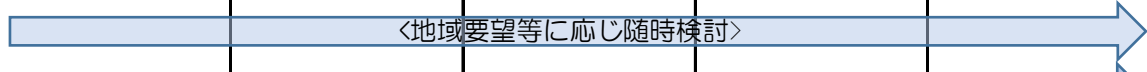
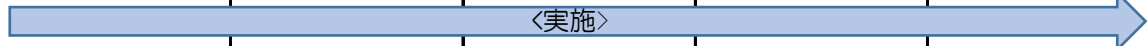
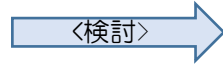
地 域	路 線 名	令和 4 年度 運行内容	路線別			地域別		
			運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率	運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率
			①	②	②／①	③	④	④／③
本 荘	循環バス (御門町)	毎日運行 (日祝 5 便) 1 日 9 循環	2,521 (2,521)	10,277 (9,471)	4.1 (3.8)	6,183 (6,183)	21,672 (20,022)	3.5 (3.2)
	循環バス (八幡下)		2,521 (2,521)	9,883 (8,979)	3.9 (3.6)			
	子吉線 (西地区)	週 2 日運行 1 日 7 便	553 (560)	921 (908)	1.7 (1.6)			
	子吉線 (東地区)		588 (581)	591 (664)	1.0 (1.1)			
矢 島	桃野線	週 3 日運行 1 日 2 便	242 (244)	47 (15)	0.2 (0.1)	242 (244)	47 (15)	0.2 (0.1)
岩 城	岩城線 (君ヶ野行き)	週 5 日運行 1 日 1 2 便	1,200 (1,212)	3,904 (3,899)	3.3 (3.2)	3,040 (3,070)	7,802 (7,961)	2.6 (2.6)
	岩城線 (滝俣行き)		1,200 (1,212)	3,118 (3,253)	2.6 (2.7)			
	南沢線	週 3 日運行 1 日 4 便	480 (484)	566 (616)	1.2 (1.3)			
	道川北線	週 2 日運行 1 日 2 便	160 (162)	214 (193)	1.3 (1.2)			
大 内	中田代線	毎日運行 (土日祝 8 便) 1 日 1 2 便	3,264 (3,272)	5,891 (7,167)	1.8 (2.2)	7,540 (7,534)	10,257 (12,274)	1.4 (1.6)
	高尾線	毎日運行 (土日祝 8 便) 1 日 1 0 便	2,806 (2,798)	2,931 (3,564)	1.0 (1.3)			
	羽広－軽井沢線	週 6 日運行 1 日 6 便	1,470 (1,464)	1,435 (1,543)	1.0 (1.1)			
東由利	八塩線	週 5 日運行 1 日 7 便	1,428 (1,428)	1,983 (1,680)	1.4 (1.2)	2,368 (2,340)	2,929 (2,345)	1.2 (1.0)
	法内線	週 3 日運行 1 日 7 便	854 (861)	838 (597)	1.0 (0.7)			
	大吹川線	週 2 日運行 (全予約制) 1 日 4 便	86 (51)	108 (68)	1.3 (1.3)			
西 目	西目線	週 6 日運行 (土曜 4 便) 1 日 1 0 便	2,192 (2,172)	1,885 (1,694)	0.9 (0.8)	2,192 (2,172)	1,885 (1,694)	0.9 (0.8)
鳥 海	伏見笹子線	毎日運行 (土日祝 8 便) 1 日 1 2 便	3,240 (3,244)	2,890 (3,673)	0.9 (1.1)	7,867 (7,809)	5,527 (6,384)	0.7 (0.8)
	伏見笹子線 (新沢平経由)	週 2 日運行 1 日 2 便	158 (156)	282 (299)	1.8 (1.9)			
	中直根線	毎日運行 (土日祝 5 便) 1 日 8 便	2,070 (2,141)	1,302 (1,318)	0.6 (0.6)			
	猿倉線	週 5 日運行 1 日 6 便	1,199 (1,074)	323 (197)	0.3 (0.2)			
	皿川線	週 5 日運行 1 日 6 便	1,200 (1,194)	730 (897)	0.6 (0.8)			
合 計			29,432 (29,352)	50,119 (50,695)	1.7 (1.7)	29,432 (29,352)	50,119 (50,695)	1.7 (1.7)

目 的	・高齢化や過疎化が進み、運転免許の自主返納や独居世帯などの住民が増えている中、生まれ育った地域で安心して暮らしていけるよう、最低限の生活の足を確保しようとするもの。
運 営	・石沢地域振興会
運 行 パターン	・互助による輸送 ・乗合タクシー（道路運送法「一般乗合旅客自動車運送事業」）
運行範囲	・互助による輸送： 石沢地区全域 および小友地区、由利地区の定める目的地と利用者宅の間の送迎 ・乗合タクシー：ナイス本荘インター店と石沢公民館の間の送迎
運行概要	【運 行】随時運行とし、ドライバーが対応可能な場合、予約に応じて運行する 【運 賃】 <石沢地区> 片道 50 円 石沢地域全域に運行拡大 <小友地区> 片道 100 円 フレッシュグリーン、薬王堂、JA 秋田しんせい本店、あらまち歯科 <由利地域> 片道 100 円 ニコット由利前郷店、ゆりえもん ※上記目的地を組み合わせて運行することも可能とし、その際の運賃は、石沢地区を起点として小友地区、または由利地域に跨ぐ場合に、それぞれの運賃を受領するものとする ※公民館事業等に参加するためにボランティア輸送を利用する場合の運賃は無料とする 【利用者】石沢地区住民 【予 約】利用者は運行前日の午後 3 時まで電話にて予約する 予約先：石沢公民館（29-2111） 【保 険】損保ジャパン（株）の「移動支援サービス専用自動車保険（ライトプラン）」に加入する
接続する 交通網	・羽後交通「東由利線（石沢小学校前）」
配慮すべき交通網	<互助による輸送について> ・路線バス「東由利線」が石沢地区を貫通するような形で運行されているが、地域によってはバス停までが遠く利用することが困難な所が点在する。このことから、石沢地区内の移動を自由にする（バスへの乗り継ぎについては、自宅最寄りのバス停までとする。）そこから路線バスに乗車できる環境を創ることで、利用促進にも繋げることが可能になる。 ・石沢地区を営業エリアとする光タクシー（株）、本荘タクシー（株）、（有）ハートワン交通ほか、近隣の事業者でもある東交通に対し事業内容説明を行い、事業実施について内諾を得ている。 <乗合タクシーについて> ・ルートが重複する路線バス「東由利線」について、運行する羽後交通（株）の内諾を得ている。

運 賃	<u><互助による輸送></u> ・上記「運行概要」のとおり <u><乗合タクシー></u> ※変更なし 4人乗り車両で運行した場合：1乗車650円 9人乗り車両で運行した場合：1乗車450円
期 間	・令和5年4月1日改正適用開始／乗合タクシー運行継続
運行車両	・互助による輸送に対し市所有のミニバン車両を無償貸与予定 ・乗合タクシーは委託先事業者のタクシー車両

乗り[逢い]交通事業 石沢地域交通「ボランティア輸送」運行範囲の拡大



事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
事業1-1	地域間幹線である路線バス・鉄道を維持する	由利本荘市／バス事業者／鉄道事業者	本市の中心市街地である本荘地域と各地域を結ぶ路線バス、鉄道の運行を維持するため、交通事業者に交付している運行費補助等を継続する。	補助金交付	同左	同左	同左	同左
			近年、様々な形で進歩を続けるキャッシュレス決済やロケーションシステムの導入を検証・検討し、利便性の向上に努めるとともに、バスパックなどの企画や貨客混載の実施による生産性向上の取り組みを継続し、収支改善を図る。	循環バスによりバスロケ実証実験の実施 バスパック継続	キャッシュレス検討 バスパック継続	キャッシュレス拡大を検討	同左	同左
			<事業スケジュール>⇒					
			<事業の実施状況> 令和3年度：交通事業者に対する運行費補助等を維持した／羽後交通企画「バスパック」は継続した／羽後交通本荘営業所窓口においてR3. 9. 1からPayPayでの支払いが可能になった 令和4年度：交通事業者に対する運行費補助等を維持した【資料1-1①】／羽後交通企画「バスパック（天然温泉日帰り乗車券「東由利 黄桜温泉 湯楽里」）」を継続 ／羽後交通各路線及び循環バス・コミュニティバス「子吉線」においてR4. 10. 1からPayPayでの運賃支払いが可能になった【資料1-1②】					
事業1-2	地域内幹線であるコミュニティバスの運行と維持	由利本荘市	主に路線バスの代替交通として地域内の幹線を運行している市コミュニティバスの運行を継続する。	運行継続	運行継続 運行継続基準策定 スクールバスとの連携などについて 検討開始	運行継続 運行継続基準策定 スクールバスとの連携などについて 検討開始	新契約締結	新契約運行継続
			路線バスと接続する乗り継ぎ拠点を核としたフィーダー交通を維持することで、地域内の交通ネットワークの充実を図る。	同上	同上	同上	同上	同上
			地域内にまとまったニーズがあると認められる場合は、基準を設けた実証運行を行い、持続可能性に十分配慮したうえでフィーダー交通を導入する。	P19にある空白地域において対応 （事業2－3により）	必要に応じて同左にて対応していく	同左	同左	同左
			<事業スケジュール>⇒					
								
<事業の実施状況> 令和3年度：コミュニティバスの運行を維持した／運行継続基準を検討し、スクールバスとの連携の可能性を検討する／石沢地域交通を導入しカバー率が向上した 令和4年度：コミュニティバスの運行を維持した【資料1-2】／運行継続基準を検討し、適切な運行便数を検証した。また、市コミュニティバス事業の新契約の締結を進めた								
事業1-3	各種交通モード間の接続強化	鉄道事業者／バス事業者／由利本荘市	既存の各種交通モード間の接続の利便性を向上させることで、利用者がスムーズに公共交通機関を利用できる環境を整える。	R3. 4ダイヤ改正にむけ調査・検討を行う	ダイヤ改正の実施	コミバス新契約においても接続に配慮する		
			地域間幹線である鉄道や路線バスと地域内交通である市コミュニティバス等の乗り継ぎをスムーズにするよう改正を行う。	同上	同上	同上		
			ただし、乗り継ぎをして地域間を移動する以外にも、地域内の移動ニーズがあることも考えられるので、その点にも十分配慮して改正を行う。	同上	同上	同上		
			【対象交通モード】 鉄道／路線バス／市コミバス					
			<事業スケジュール>⇒					
<事業の実施状況> 令和3年度：各交通モード間の接続を見直し、R3. 4. 1ダイヤ改正を行った 令和4年度：各交通モード間の接続を見直し、R4. 4. 1ダイヤ改正を行った								

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
事業1-4	羽後本荘駅ほか乗り継ぎ拠点の整備	鉄道事業者／バス事業者／施設管理者／由利本荘市	羽後本荘駅の東西自由通路整備に伴い改修されるバスロータリー・やタクシー待合い場所を最大限活用できるよう運行体制を整える。	ハード整備と運用面について協議・調整していく	※駅舎関係一部供用開始予定	※年度末完成予定		
			各地域の乗り継ぎ拠点を維持（整備）し、乗り継ぎ環境の向上を図る。	維持整備	維持整備	維持整備	維持整備	維持整備
			【対象乗継拠点】 ・羽後本荘駅／矢島駅／岩城みなと駅／羽後亀田駅／前郷駅／道の駅おうち／道の駅東由利／西目駅／道の駅西目／鳥海菜らんど					
			＜事業スケジュール＞⇒	＜運行体制整備＞	＜既存拠点の維持整備を実施＞			
＜事業の実施状況＞ 令和3年度：新羽後本荘駅建設に向けた定例ミーティングの実施／各地域の乗継拠点における整備等はなかった 令和4年度：新羽後本荘駅建設に向けた定例ミーティングの実施／各地域の乗継拠点における整備等はなかった								
事業1-5	バス路線や鉄道の運行経路・ダイヤ等の周知とPR	鉄道事業者／バス事業者／施設管理者／由利本荘市	バス路線については、「いつ」、「どこ」を「いくら」で運行するのが分からず、乗車するのが不安であるとの声が多い。鉄道を含めた経路図や時刻表、運賃などの情報を掲載したマップを作成する。	情報収集と体裁の検討	完成			
			各公共施設や乗り継ぎ拠点、市ホームページにて掲出し広く周知できるようにする。		掲出開始	周知・随時改定	周知・随時改定	周知・随時改定
			＜事業スケジュール＞⇒	＜作成準備＞	＜掲出・周知・改定＞			
＜事業の実施状況＞ 令和3年度：R3.4.1ダイヤ改正による時刻表にコミバスと路線バス・鉄道との乗り継ぎ時間や、通院や買い物におけるコミバスの利用例を記載した時刻表を作成した／市HPに掲出したほか申し出により市窓口で交付できるようにした 令和4年度：R4.4.1ダイヤ改正によるコミバス・路線バス・鉄道の時刻表を市HPに掲出した								
事業2-1	町内会や老人クラブ等との「対話会」の開催	由利本荘市／地域住民	鳥海山ろく線や路線バス、市コミュニティバスの沿線などにおいて、町内会や町内老人クラブと「対話会」を開催し、公共交通の現状や利用促進の必要性を説明し、意見交換をすることで住民理解と乗車数の増加に繋げていく。	市全町内会長あて開催依頼の通知をする	市広報により募集し開催する	同左	同左	同左
			特に、市コミュニティバスのうち、利用状況の悪い沿線においては、対話会の際に乗車券を配布し「お試し乗車」を促すことで、乗車することへのハードルを下げ、その後の継続利用に繋げていく。		乗車状況を考慮しピックアップして開催する	同左	同左	同左
			＜事業スケジュール＞⇒	＜実施＞				
＜事業の実施状況＞ 令和3年度：1月末時点で計6回実施している（町内会：2件、老人クラブ：1件、乗り[逢い]交通：3件）／「お試し乗車」を東由利、鳥海で実施した（今後も各地域で検討中） 令和4年度：1月中旬時点で計6回の対話会を実施した（町内会：1件、乗り[逢い]交通事業導入町内：5件）【資料2-1】／「お試し乗車」は実施できなかった								

事業N o	事業名	事業主体	事業概要	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度		
事業2-2	地域住民の「ちょい乗り」の推進	由利本荘市／地域住民	・公共交通を利用する方が固定化されていることも利用者の減少に歯止めがかからない要因の一つである。	事業2－1により実施	事業2－1により実施	事業2－1により実施	事業2－1により実施	事業2－1により実施		
			・そこで、普段は車を使用する方が、月に1度や2度と、積極的な気持ちで、あえて公共交通を利用することで地域の「生活の足」を維持していくことが可能になっていく。	同上	同上	同上	同上	同上		
			・事業2－1で実施する「対話会」や各地域で開催される町内会長等が集まる会合などに出向き説明とお願いを繰り返すことで“使わなければなくなってしまうんだな”という意識を持っていただけるようにしていく。	同上	同上	同上	同上	同上		
			＜事業スケジュール＞⇒					＜実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和3年度：事業2-1にて推進した 令和4年度：事業2-1にて推進した							
事業2-3	「乗り[逢い]交通」事業の導入と推進	由利本荘市／バス事業者／タクシー事業者／地域住民	・地域内の移動に関する課題解決を、地域住民自ら実施する事業を ・「乗り[逢い]交通」事業と定め、実施までのサポートや経費の一部助成を行っていく。	随時対応	同左	同左	同左	同左		
			・交通空白地域や公共交通機関の運行が充実していない地域に対して事業説明を行い、導入を促進していく。	P19にある空白地域において対応（事業2-3により）	同左	同左	同左	同左		
			・事業導入の際には、公共交通機関の役割分担に十分配慮するよう ・交通事業者と協議を行い、市の地域公共交通活性化再生協議会の承認を経て実施する。	随時対応	同左	同左	同左	同左		
			＜事業スケジュール＞⇒					＜随時 募集・検討協議・導入＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和3年度：R3. 6. 1石沢地域交通開始 令和4年度：新規導入はなし／利用者が少ない「石脇新山乗合タクシー」では対話会を開催し、料金改定など利用しやすい環境整備に努めた ／利用がない「石沢地域交通」では県のアドバイザー事業を活用し、交通クリニックを開催【資料2-3, P9】							
事業2-4	地域ごとのバスラッピングの導入	由利本荘市	・各地域を運行する市コミュニティバスの車両に、地域特有のラッピングを施すことにより“自分たちのバス”である意識を醸成し、“守り育てる”ための「ちょい乗り」に繋げていく。	鳥海ワゴン 2 台		大内・鳥海ワゴンバス各 1 台		西目ワゴン 1 台		
			・ラッピングは、各路線の車両状態と市の財政状況を考慮して更新される際に施すものとする。							
			＜事業スケジュール＞⇒					＜車両更新時にラッピング実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和3年度：※車両更新なし 令和4年度：大内地域「羽広-軽井沢線」、鳥海地域「皿川線」で実施【資料2-4】							

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
事業3-1	沿線のスーパーや医療機関との連携	由利本荘市／企業等事業主	公共交通機関の沿線のスーパーや医療機関と連携し、公共交通利 ・用者に特典がつくスタンプカードを発行することなどで利用を促進し、乗車人数の増加と地域経済の活性化を目指す。	沿線の店舗に通知 や交渉により声掛けをする	可能な店舗から実施 随時募集も行う	同左	同左	同左
			<事業スケジュール>⇒	＜募集・準備＞	＜実施＞			
<u><事業の実施状況></u> 令和3年度：コミバス「子吉線」でグランマート本荘南店とスタンプカード実施／ニコット鳥海店で沿線を通る3路線のバス停を駐車場内に設置 令和4年度：コミバス「子吉線」でグランマート本荘南店とスタンプカード実施の継続								
事業3-2	高齢化や増加する運転免許自主返納者への対応	由利本荘市	高齢者による重大な交通事故の発生などを契機に、運転免許を自主返納する市民が増加してきている。その一方で、本市においては農作業などで車を使用することを考慮すると免許を手放すことが難しいという面もある。					
			高齢者が、安心して「おでかけ」することができるように、市コミュニティバスの割引制度の検討を行うとともに、遠方から本荘地域の総合病院に通院する負担を軽減するため、路線バスの上限制導入を検討する。	割引、企画券、上 ・限制について検討する	高齢者お出かけ促進事業の導入	周知 コミバス割引制度 ・検討	同左	同左
			利用料金の割引き等の検討を行う際には、当該事業の持続可能性についても十分配慮する。					
			運転免許返納後に受けられる割引制度などをまとめたチラシを作成し、周知を図る。		チラシ作成			
			<事業スケジュール>⇒	＜割引制度の検討調査＞	＜制度の導入＞			
				＜チラシ作成＞				
<u><事業の実施状況></u> 令和3年度：R3.7.1「高齢者お出かけ促進事業」の導入／運転免許返納後の特典などをまとめたチラシを作成した 令和4年度：「高齢者お出かけ促進事業」の継続【資料3-2】								
事業3-3	「公共交通 意見箱」の設置	バス事業者／由利本荘市	公共交通のダイヤやルートの改定には、データやニーズが根拠と ・して必要となるが、現状では、実際に公共交通を利用している市民の意見を直接把握できる体制が整っていない。					
			そこで、バス路線の車内および市役所庁舎（各総合支所含む）に ・「公共交通 意見箱」を設置して、誰でもいつでも意見をあげられるようにする。	導入方法の検討	導入方法の検討	周知	同左	同左
			具体的な意見をいただきたいことから、様式を定め、氏名・住所・電話番号を記載してもらい、市から問い合わせをすることもあることを明記する。		様式の検討			
			<事業スケジュール>⇒		＜検討準備＞	＜市長への提案＞		
<u><事業の実施状況></u> 令和3年度：「私から市長への提案」開始により様々な提出方法により公共交通関連についてのご意見をいただき、対応している／意見の提出方法を検討し導入する 令和4年度：「私から市長への提案」により公共交通関連についてのご意見をいただき、対応している								

事業No	事業名	事業主体	事業概要	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度		
事業4-1	通学定期券購入費助成の検討	由利本荘市／ 由利高原鉄道（株）	平成26年度に166千人あった通学定期利用は、平成30年度には108千人にまで減少している。要因の一つとしてJRと比較して2倍以上となっている定期券代がある。							
			これを解決する手段として定期券購入費の補助制度が挙げられるが、路線バス定期券購入費とのバランスや、新たな財政負担が生じる可能性もあることからアンケート調査を行い、検討を開始する。	アンケートの実施・検証	定期代の半額程度の割引きを試験的に導入	本格導入の検討				
			＜事業スケジュール＞⇒			＜アンケート・検討・判断＞		＜実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和3年度：補助という形ではなく定期代自体の半額程度割引きをしてアンケート結果に対する実証を開始した 令和4年度：由利高原鉄道により割引制度を継続し、好評を得ている【資料4-1】							
事業4-2	各駅へのフィーダー交通導入の検討	由利本荘市／ 由利高原鉄道（株）	鳥海山ろく線は路線距離23kmに12駅が設置されている。しかし、居住地によっては駅まで遠く利便性がよいとは言えない地域も多 くある。							
			これらの地域において、駅までの移動をしやすい環境を整えるこ とで利用促進が図られる。							
			地域におけるニーズを把握し、フィーダー交通を整備すること で、地域住民の鳥海山ろく線の利用が促進されるのか、そのため にはどのような運行形態がマッチするのか検討していく。	地域の交通環境を 考慮し、可能性の ある地域に声掛け	同左	運行開始 随時募集する	同左	同左		
			検討にあたっては事業2－3「乗り[逢い]交通事業」の積極的活 用も含める。							
			＜事業スケジュール＞⇒			＜調査・検討・協議＞		＜必要に応じて実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和3年度：導入なし 令和4年度：事業2-3「乗り[逢い]交通」事業の導入と推進、事業4-3路線バスとの並走区間に関する整理検討と合わせて検討							
事業4-3	路線バスとの並走区間に関する整理検討	由利本荘市／ 由利高原鉄道（株）／ 羽後交通（株）	鳥海山ろく線並びに本荘伏見線は、利用する市民にとっては大切 な「生活の足」であるものの、欠損額の補填が大きな財政負担に なっている現状もある。							
			このことから、運行状況や乗車状況の現状を把握し、そこから、 互いに協力し調整を図ることで利便性を損なわず財政負担も軽減 できるような対策はないか検討を行う。	現状把握と3者協 議の開始	同左	方向性の決定				
			検討にあたっては、通学定期券購入費助成や駅までの利便性を高 めることで、本荘伏見線に与える影響も考慮しながら、目標4の 3つの事業を一体的な対策となるよう検討を進める。							
			＜事業スケジュール＞⇒			＜調査・検討・協議＞		＜必要に応じて実施＞		
			＜事業の実施状況＞ 令和3年度：担当者会議を行い検討事項を洗い出す 令和4年度：三者による協議を行い、今後に向けた検討を開始							

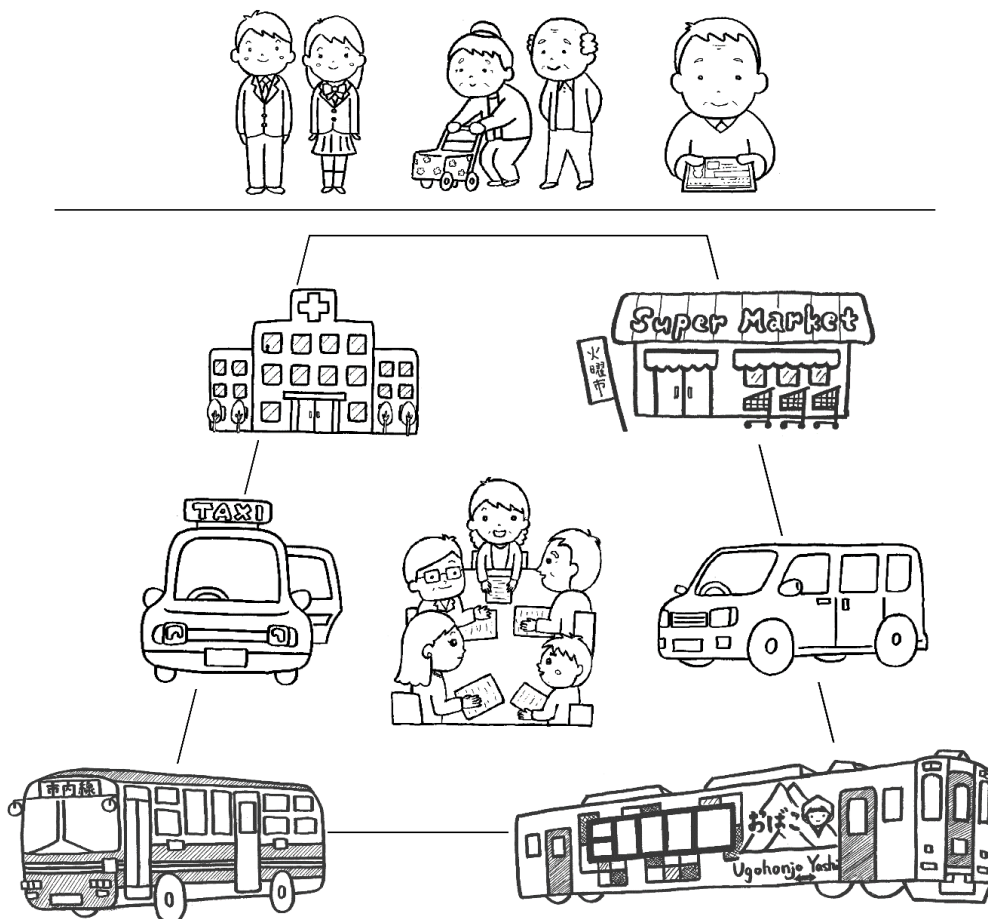
<各目標における指標の達成状況>

第5章 地域公共交通網形成計画の基本方針

- ・市で定める上位計画における公共交通の望ましい姿や、市と公共交通の現状を鑑み挙げられている前章における課題を解決する。
- ・現状の交通ネットワークを維持しながら、将来あるべき公共交通の姿を実現するための基本的な方針を定める。

計画の基本方針

持続可能な公共交通体系を構築し、
安心して「おでかけ」できる環境を創る



第7章 目標の評価と進行管理

1、目標の評価

- ・本計画で掲げた事業が的確に行われ、目指すべき公共交通の将来像に近づいているかを評価するため、それぞれの目標に指標を設けて取り組みの成果を測定し、評価していく。

【注】各目標の実績は全て12月時点での数値です

目標1 “使える”公共交通へ

指標1-1 地域間幹線の路線バスの平均運行本数と乗車人数

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
15本/日・15人/便	15本/日・15人/便
令和3年度実績：16本/日・6.7人/便	
令和4年度実績：14本/日・7.8人/便	

【モニタリング方法】

- ・羽後交通（株）が実施する乗降調査の実績をヒアリングし指標とする。

指標2-1 公共交通カバー率

基準値：平成30年度	目標値：令和6年度
74.6%	86.8%
令和3年度実績：77.3%	
令和4年度実績：77.3%	

【モニタリング方法】

- ・前計画においてモニタリングしてきた、交通空白地域において導入された公共交通機関のカバー率の調査を継続する。

＜評価・検証（案）＞

- ①地域間幹線の1便当たりの乗車人数が目標から大きく離れているので利用促進の必要性がある。
- ②新規路線や乗り[逢い]交通の新規導入がなく、カバー率に変更がなかったため、路線の改編や乗り[逢い]交通事業の導入を進める必要がある。

＜今後の改善点など＞

- ③コミバスと路線バスの接続強化を継続し、「高齢者お出かけ促進事業」の普及に努め地域内・地域間セットでの利用促進を促す。
- ④乗り[逢い]交通事業の導入やコミバス路線の改編など、引き続きカバー率の向上に努める。

目標 2 “自分ごと”の公共交通へ

指標 2-1 「対話会」の開催回数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
14 回	年 20 回
令和 3 年度実績： 6 回	
令和 4 年度実績： 6 回	

【モニタリング方法】

- ・市が町内会や各種会合等において、市民に対して公共交通の現状や、これから求められるものなどを説明し、意見交換を行うものを「対話会」とし、その開催回数を指標とする。

指標 2-2 「乗り[逢い]交通」事業の導入件数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	10 件
令和 3 年度実績：1 件（石沢）	
令和 4 年度実績：導入なし 計 3 件	

【モニタリング方法】

- ・「乗り[逢い]交通」事業補助金の交付件数を指標とする。

指標 2-3 地域別ラッピング導入の台数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	5 台
令和 3 年度実績：導入なし	
令和 4 年度実績： 2 台（大内・鳥海）	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの車両更新に伴い、地域特有のラッピングを施した車両の導入件数を指標とする。

＜評価・検証（案）＞

- ① 乗り[逢い]交通は実施事業を継続するため、各地域の実情を把握し、状況の改善に努めた。石沢地域については導入したものの、利用に繋がらないため、秋田県によるアドバイザー派遣事業を活用し、状況の分析を行った。

＜今後の改善点など＞

- ③ 「対話会」は広報誌での周知では申し込みが多く望めないことから、開催方法を検討したい。
- ④ 乗り[逢い]交通事業は、事業の継続と利用促進に努める。

目標 3

“ライフスタイル提案型”の公共交通へ

指標 3-1

スーパーや医療機関の連携件数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
—	15 件
令和 3 年度実績：2 件（グランマート本荘南店、ニコット鳥海店）	
令和 4 年度実績：導入なし 計 2 件	

【モニタリング方法】

- ・市コミュニティバスの沿線にあるスーパーや医療機関と連携し、互いの利用促進に資する特典制度を導入した件数を指標とする。

指標 3-2

免許自主返納者の市コミュニティバス利用者数

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
2,014 件	8,000 件
令和 3 年度実績：1,806 件	
令和 4 年度実績：2,302 件	

【モニタリング方法】

- ・市の割引制度である「市コミュニティバス半額利用者証」を使用してコミュニティバスに乗車した利用者数をカウントする。

＜評価・検証（案）＞

- ①ニコット鳥海店との連携により駐車場内にバス停を設けることができ、利用者も増えている。
- ②幹線である路線バスの割引制度を導入することができた。また、羽後信用金庫と連携することができ、各地域の信金窓口で購入手続きをすることができるようになり大きく利便性向上を図ることができた。
コミバスの免許返納者利用については本荘地域では大きく伸びているものの、各地域では減少している。

＜今後の改善点など＞

- ①スーパー等との連携については、「お試し乗車」と絡め「公共交通での移動＋目的地でのメリット」を訴求していきたい。
- ②コミバスの免許返納者利用は回復しており、路線バスの割引制度と連携するようなコミバスの割引制度を導入できないか検討していく。また、コミバスの地域内移動を充実し生活利用を促進する。

目標 4 “守って育てる” 山ろく線

指標 4－1 通学定期利用率

基準値：平成 30 年度	目標値：令和 6 年度
22%	40%
令和 3 年度実績：39.8%	
令和 4 年度実績：40.8%	

【モニタリング方法】

- ・鳥海山ろく線の沿線である鳥海、矢島、由利地域の高校生的人数に対して通学定期券を購入している人数の割合を指標とする。

※鳥海、矢島、由利地域の高校生

⇒鳥海中学校、矢島中学校、由利中学校の卒業生的人数より

※通学定期券を購入している人数

⇒通学定期券購入時の住所より鳥海、矢島、由利地域居住者を判別

＜評価・検証（案）＞

- ①通学定期代の半額程度を割り引くというかたちで大きく利用者を増やすことができたため、由利高原鉄道(株)で制度を継続した。それにより「定期収入」部分でも本年度は増額できる見込みとなっている。

＜今後の改善点など＞

- ②特に購入が多かった新一年生の利用を継続できるよう中学校に出向き PR することで来年度入学生についても同様の利用水準を確保できるように務める。

2、目標の進行管理

（１）PDCA サイクルの実施

- ・本計画で掲げた目標を達成するために、的確に PDCA サイクルを実行していく。
- ・PDCA サイクルは、毎年開催する市地域公共交通活性化再生協議会において、各事業の実施状況および達成状況を報告し、有識者・事業者から広く意見・提案等を収集する。
- ・評価結果などは HP 等を通じて公表を行う。

■ Plan

- ・目指す将来像に近づくための目標を設定し、具体的な事業を計画する。

■ Do

- ・体制・役割等を明確に設定し、実際に事業を取り行う。

■ Check

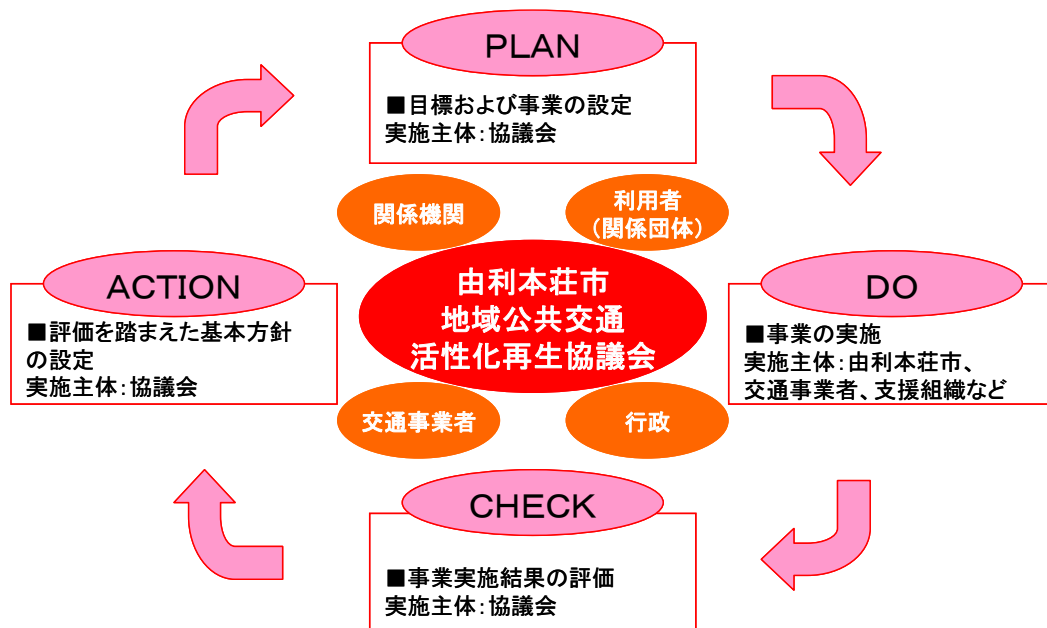
- ・途中で成果を測定・評価する。

■ Action

- ・必要に応じて修正を加える。一連のサイクルが終わったら、反省点を踏まえて再計画へのプロセスへ入り、新たなPDCAサイクルを進める。

（２）実施体制

- ・本計画のPDCA サイクルは、市地域公共交通活性化再生協議会を中心に、各取り組み事業の実施主体の協力を得て行う。



（PDCA サイクルの実施体制）

○市青年会議所 理事長 泉谷委員

①事業１－１ PayPayでの決裁では、時間がかかってしまうのではないか。
コストは掛かるが、交通系ＩＣの導入は検討しないか？

⇒路線バス各路線、循環バスなどではPayPayの利用があり、運賃の受領間違いがなく、小銭を準備しなくても良いなど一定の効果は感じております。県内他市の事業所では交通系ＩＣの導入も進んでおり、羽後交通(株)でも導入の検討はしている状況ではありますが、導入コストとその後の更新コスト、利用者のニーズなどの状況を見ながら検討していくこととしています。市としても導入コスト等の負担軽減措置を検討してまいります。

② 事業１－５ 時刻表を市ＨＰに掲出したとのことだが、どれくらいの人に
見られたか。十分に周知できていると言えるか。

⇒新たな時刻表は市ＨＰでの掲出と市広報誌及び支所だよりによる周知を行っています。市広報への記事掲載量が決まっているため、詳細までは周知できていないかもしれませんが、今後は市ＬＩＮＥなども活用して周知を図ります。

○東由利地域交通利用者 長谷山委員

③ 事業ＰＲや趣向を凝らしたチラシ等は大変有意義と思われるので、今後とも
各地域で継続発行していくことを願います。

⇒各地域で継続発行するよう努めてまいります。

④コミバス利用・指標達成率は前回よりも上回っており成果が出ていることと
思われるので喜ばしいことと思います。

利用率などアップを図る上で、新規施策を各地域から一点程度提案していただき、その中から有益なものを採用、導入していくことも良いのではないかと思います。

⇒ご提案の意見も参考にしながら、コミバス利用率が今後もアップし続けるように施策を検討してまいります。

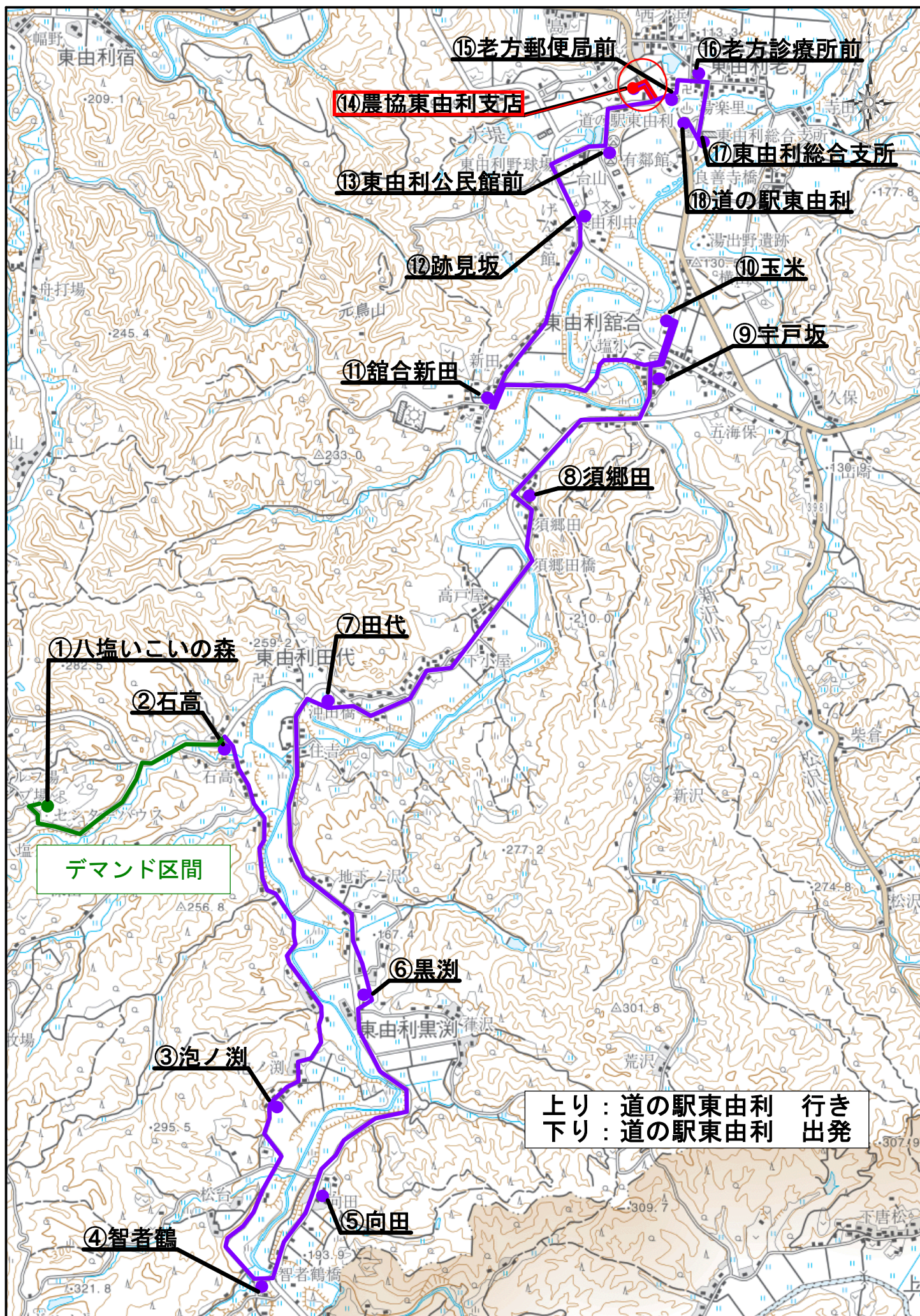
東由利地域「八塩線」の路線変更について

(1) 変更の内容

八塩線の一部運行経路を見直しする。

変更内容	・八塩線における東由利公民館前停留所から老方郵便局前停留所までの経路について、秋田しんせい農協東由利支店敷地内を通るルートへ変更。 ・秋田しんせい農協東由利支店に停留所を増設 ・経路を次のとおり変更 東由利公民館前⇒農協東由利支店⇒老方郵便局前		
背 景	【コミュニティバス利用者及び利用促進協議会から要望】 東由利地域においても、高齢化が進み移動が困難な状況にある。地域内の金融機関のうち3つが老方地区にあるが、秋田しんせい農協東由利支店のみがコミュニティバスの路線外となっており、特に高齢者にとって冬季の積雪期間は歩行による移動が危険となっている。		
効 果	東由利地域内では利用頻度の高い店舗敷地内を通過する経路のため、利用者の増加及び乗降時の安全確保にも繋がる。		
利用見込	20人程度（変更ルート部分：月間） ※令和4年度老方郵便局前停留所 月平均乗降人数22人		
キ ロ 程 ・ 所要時間	(キロ程)	(所要時間)	
【変更前】	18.5km	34分	(区域運行)
【変更後】	18.9km	34分	(区域運行)
運 賃	・大人（中学生以上） 一律200円 ・小学生以下 一律100円（未就学児無料） (変更なし)		
便 数	八塩線 1日7便 土日祝日及び年末年始（12/31～1/3）：全便運休 (変更なし)		
停留所数	【変更前】 17ヶ所 【変更後】 18ヶ所		
使用車両	トヨタ（10人乗り）		
運行形態	委託 東交通株式会社による運行		
変 更 日	令和5年4月3日（月）		

【東由利「八塩線」 区間図】



北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:30000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を使用したものである。(承認番号 平18総使、第295-201号)」

(R5.4～)八塩線運行時刻表

道の駅東由利行き						
No.	経 由 地	1便	2便	4便		
①	八塩いこいの森(デマンド)	5:57	8:17	10:26		
②	石 高	6:00	8:20	10:29		
③	泡ノ渚	6:05	8:25	10:34		
④	智者鶴	6:07	8:27	10:36		
⑤	向 田	6:08	8:28	10:37		
⑥	黒 渚	6:11	8:31	10:40		
⑦	田 代	6:15	8:35	10:44		
⑧	須郷田	6:18	8:38	10:47		
⑨	宇戸坂	6:20	8:40	10:49		
⑩	玉 米	6:21	8:41	10:50		
⑪	館合新田	6:24	8:44	10:53		
⑫	跡見坂	6:26	8:46	10:55		
⑬	東由利公民館前	6:27	8:47	10:56		
⑭	農協東由利支店	6:27	8:47	10:56		
⑮	老方郵便局前	6:28	8:48	10:57		
⑯	老方診療所前	6:29	8:49	10:58		
⑰	東由利総合支所	6:30	8:50	10:59		
⑱	道の駅東由利	6:31	8:51	11:00		
道の駅	本荘行き	6:40	9:00	11:10		
	本荘より	7:30		10:55	12:55	17:45

八塩いこいの森行き						
No.	経 由 地		3便	5便	6便	7便
⑱	道の駅東由利		9:20	11:55	13:15	18:04
⑰	東由利総合支所		9:21	11:56	13:16	18:05
⑯	老方診療所前		9:22	11:57	13:17	18:06
⑮	老方郵便局前		9:23	11:58	13:18	18:07
⑭	農協東由利支店		9:24	11:59	13:19	18:08
⑬	東由利公民館前		9:24	11:59	13:19	18:08
⑫	跡見坂		9:25	12:00	13:20	18:09
⑪	館合新田		9:27	12:02	13:22	18:11
⑩	玉 米		9:30	12:05	13:25	18:14
⑨	宇戸坂		9:31	12:06	13:26	18:15
⑧	須郷田		9:33	12:08	13:28	18:17
⑦	田 代		9:36	12:11	13:31	18:20
⑥	黒 渚		9:40	12:15	13:35	18:24
⑤	向 田		9:43	12:18	13:38	18:27
④	智者鶴		9:44	12:19	13:39	18:28
③	泡ノ渚		9:46	12:21	13:41	18:30
②	石 高		9:51	12:26	13:46	18:35
①	八塩いこいの森(デマンド)		9:54	12:29	13:49	18:38

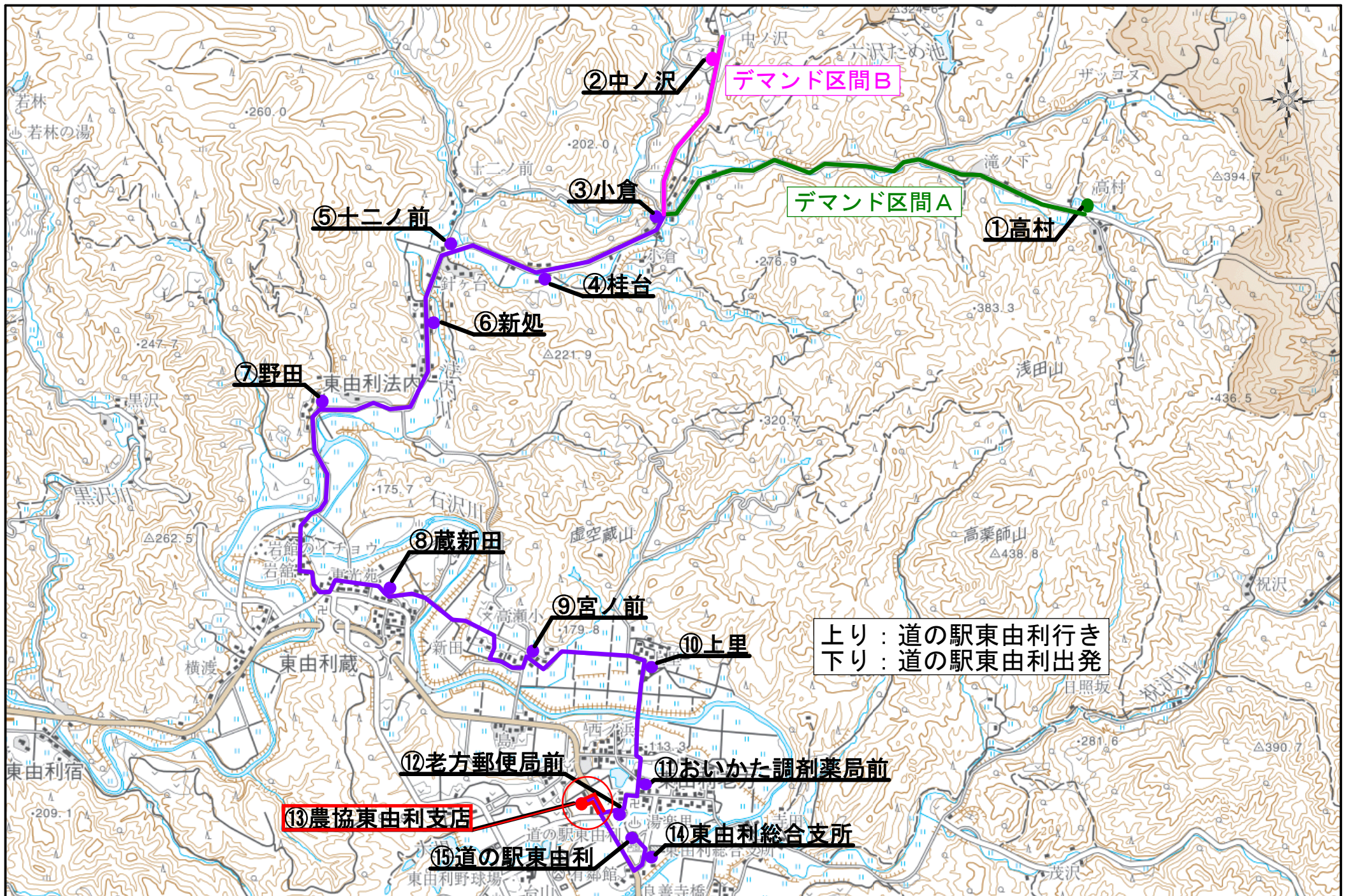
東由利地域「法内線」の路線変更について

(1) 変更の内容

法内線の一部運行経路を見直しする。

変更内容	・法内線における老方郵便局前停留所から東由利総合支所停留所までの経路について、秋田しんせい農協東由利支店敷地内を通るルートへ変更。 ・秋田しんせい農協東由利支店に停留所を増設 ・経路を次のとおり変更 法内線 老方郵便局前⇒農協東由利支店⇒東由利総合支所		
背景	【コミュニティバス利用者及び利用促進協議会から要望】 東由利地域においても、高齢化が進み移動が困難な状況にある。地域内の金融機関のうち3つが老方地区にあるが、秋田しんせい農協東由利支店のみがコミュニティバスの路線外となっており、特に高齢者にとって冬季の積雪期間は歩行による移動が危険となっている。		
効果	東由利地域内では利用頻度の高い店舗敷地内を通過する経路のため、利用者の増加及び乗降時の安全確保にも繋がる。		
利用見込	10人程度（変更ルート部分：月間） ※令和4年度老方郵便局前停留所 月平均乗降人数8人		
キロ程・ 所要時間		(キロ程)	(所要時間)
	【変更前】	13.7km	27分 (区域運行)
	【変更後】	14.2km	27分 (区域運行)
運賃	・大人（中学生以上） 一律200円 ・小学生以下 一律100円（未就学児無料） （変更なし）		
便数	法内線 1日7便 ※火・木曜：全便運休 土日祝日及び年末年始（12/31～1/3）：全便運休 （変更なし）		
停留所数	【変更前】 14ヶ所 【変更後】 15ヶ所		
使用車両	トヨタ（10人乗り）		
運行形態	委託 東交通株式会社による運行		
変更日	令和5年4月3日（月）		

【東由利「法内線」区間図】



北海道地図株式会社

0 250 500 750 1000 m

1:30000

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を使用したものである。（承認番号 平18総使、第295-201号）」

(R5.4～)法内線運行時刻表

道の駅東由利行き

No.	経 由 地	1便	2便	3便	5便	
①	高 村(デマンド)	6:15	8:32	10:35	12:45	
②	中ノ沢(デマンド)	6:20	8:37	10:40	12:50	
③	小 倉	6:22	8:39	10:42	12:52	
④	桂 台	6:23	8:40	10:43	12:53	
⑤	十二ノ前	6:24	8:41	10:44	12:54	
⑥	新 処	6:25	8:42	10:45	12:55	
⑦	野 田	6:27	8:44	10:47	12:57	
⑧	蔵 新 田	6:31	8:48	10:51	13:01	
蔵 新 田	本荘行き	6:47	9:04	11:14	13:24	
⑨	宮 ノ 前	6:33	8:50	10:53	13:03	
⑩	上 里	6:35	8:52	10:55	13:05	
⑪	おいかた調剤薬局前	6:37	8:54	10:57	13:07	
⑫	老方郵便局前	6:38	8:55	10:58	13:08	
⑬	農協東由利支店	6:39	8:56	10:59	13:09	
⑭	東由利総合支所	6:39	8:56	10:59	13:09	
⑮	道の駅東由利	6:40	8:57	11:00	13:10	
道 の 駅	本荘行き	6:40	9:00	11:10	13:20	
	本荘より			10:55	12:55	15:13

高 村行き

No.	経 由 地		4便	6便	7便
⑮	道の駅東由利		11:32	13:15	15:35
⑭	東由利総合支所		11:33	13:16	15:36
⑬	農協東由利支店		11:33	13:16	15:36
⑫	老方郵便局前		11:34	13:17	15:37
⑪	おいかた調剤薬局前		11:35	13:18	15:38
⑩	上 里		11:37	13:20	15:40
⑨	宮 ノ 前		11:39	13:22	15:42
蔵 新 田	本荘より		10:48	12:48	15:07
⑧	蔵 新 田		11:41	13:24	15:44
⑦	野 田		11:45	13:28	15:48
⑥	新 処		11:47	13:30	15:50
⑤	十二ノ前		11:48	13:31	15:51
④	桂 台		11:49	13:32	15:52
③	小 倉		11:50	13:33	15:53
②	中ノ沢(デマンド)		11:52	13:35	15:55
①	高 村(デマンド)		11:57	13:40	16:00

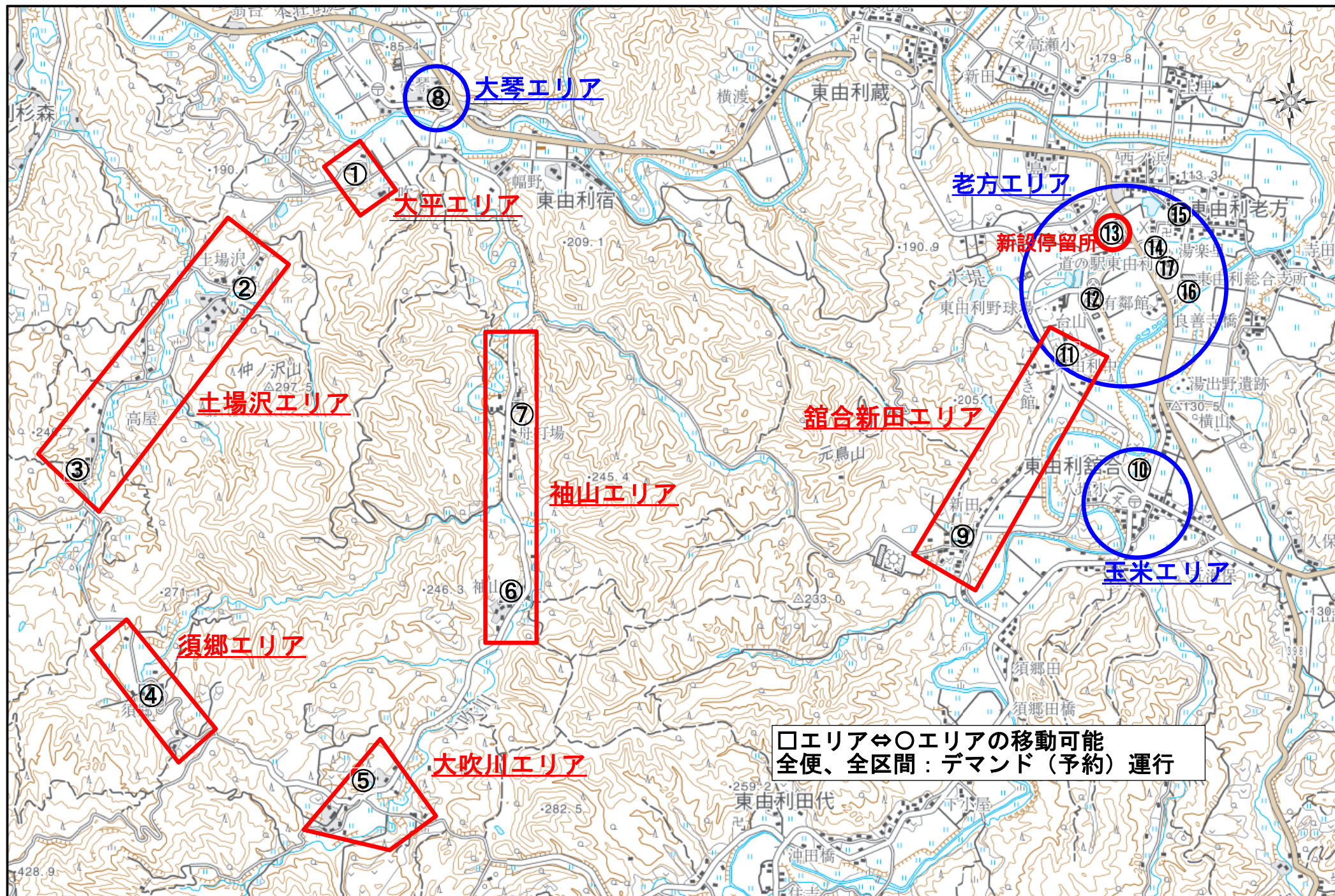
東由利地域「大吹川線」の路線変更について

(1) 変更の内容

大吹川線の一部運行経路を見直しする。

変更内容	・大吹川線における東由利公民館前停留所から老方郵便局前停留所までの経路について、秋田しんせい農協東由利支店敷地内を通るルートへ変更。 ・秋田しんせい農協東由利支店に停留所を増設 ・経路を次のとおり変更 大吹川線 東由利公民館前⇒農協東由利支店⇒老方郵便局前		
背景	【コミュニティバス利用者から要望】 東由利地域においても、高齢化が進み移動が困難な状況にある。地域内の金融機関のうち3つが老方地区にあるが、秋田しんせい農協東由利支店のみがコミュニティバスの路線外となっており、特に高齢者にとって冬季の積雪期間は歩行による移動が危険となっている。		
効果	東由利地域内では利用頻度の高い店舗敷地内を通過する経路のため、利用者の増加及び乗降時の安全確保にも繋がる。		
利用見込	3人程度（変更ルート部分：月間） ※令和4年度老方郵便局前停留所 月平均乗降人数1人		
キロ程・所要時間	(キロ程)	(所要時間)	
	【変更前】 21.7km	43分	(区域運行)
	【変更後】 22.1km	43分	(区域運行)
運賃	・大人（中学生以上） 一律200円 ・小学生以下 一律100円（未就学児無料） (変更なし)		
便数	大吹川線（全線デマンド）1日4便 ※火・水・金曜：全便運休 土日祝日及び年末年始（12/31～1/3）：全便運休 (変更なし)		
停留所数	【変更前】 16ヶ所 【変更後】 17ヶ所		
使用車両	トヨタ（10人乗り）		
運行形態	委託 東交通株式会社による運行		
変更日	令和5年4月3日（月）		

【東由利「大吹川線」運行区域図



(R5.4～)大吹川線運行時刻表

道の駅東由利行き		(全便デマンド運行)			
No.	経 由 地	1便	2便		
①	大平	6:25	8:40		
②	土場沢	6:27	8:42		
③	高屋	6:29	8:44		
④	須郷	6:32	8:47		
⑤	大吹川	6:35	8:50		
⑥	袖山	6:37	8:52		
⑦	舟打場	6:39	8:54		
⑧	上大琴	6:42	8:57		
上大琴	本荘行き (道の駅・横手より)	6:51	9:11		
⑨	館合新田	6:53	9:08		
⑩	玉米	6:57	9:12		
⑪	跡見坂	6:59	9:14		
⑫	東由利公民館前	7:01	9:16		
⑬	農協東由利支店	7:01	9:16		
⑭	老方郵便局前	7:03	9:18		
⑮	老方診療所前	7:05	9:20		
⑯	東由利総合支所	7:07	9:22		
⑰	道の駅東由利	7:08	9:23		

大 平行き		(全便デマンド運行)			
No.	経 由 地			3便	4便
⑰	道の駅東由利			12:20	14:45
⑯	東由利総合支所			12:21	14:46
⑮	老方診療所前			12:23	14:48
⑭	老方郵便局前			12:25	14:50
⑬	農協東由利支店			12:27	14:52
⑫	東由利公民館前			12:27	14:52
⑪	跡見坂			12:29	14:54
⑩	玉米			12:31	14:56
⑨	館合新田			12:35	15:00
上大琴	道の駅・横手行き			12:43	15:03
⑧	上大琴			12:46	15:11
⑦	舟打場			12:49	15:14
⑥	袖山			12:51	15:16
⑤	大吹川			12:53	15:18
④	須郷			12:56	15:21
③	高屋			12:59	15:24
②	土場沢			13:01	15:26
①	大平			13:03	15:28